

SIAFラボの 活動拠点

1F SIAF LOUNGE

SIAFラウンジ

札幌市資料館の1階にあるSIAFラウンジは、SIAF2014の記録物や、関連書籍が閲覧できるライブラリーを兼ね備えたインフォメーションセンターとして、芸術祭にまつわる情報の他、芸術文化に関するさまざまな情報を共有、発信するスペースです。コーヒーや軽食を楽しんでいただきながら、SIAFをはじめ芸術文化に関心のある人々が集う交流の場として機能していくことを目指しています。



Photo by Erika Kusumi

2F SIAF PROJECT ROOM

SIAFプロジェクトルーム

札幌市資料館の2階にあるSIAFプロジェクトルームは、SIAF2017に向けてさまざまな活動を実践するスペースです。ワークショップやレクチャーなど、ものづくりや学びの場として機能していくことはもちろんのこと、展示空間としても活用されます。



Photo by Erika Kusumi



札幌市資料館

060-0042 札幌市中央区大通西13丁目

開館時間：9:00 - 19:00

休 館 日：月曜日（月曜日が祝休日の場合はその翌平日、12月29日～1月3日）

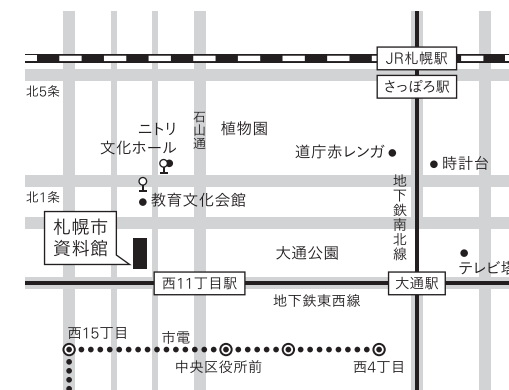
○ アクセス

地下鉄：札幌市営地下鉄東西線「西11丁目駅」1番出口より西へ徒歩5分
バ ス：JR北海道バス・北海道中央バス「北1条西12丁目」下車南へ徒歩2分
市 電：「中央区役所前」下車北西へ徒歩6分／「西15丁目」下車北東へ徒歩5分
※駐車場がないため、公共の交通機関をご利用ください。

○ お問い合わせ

電 話：011-252-9360（SIAFラウンジ [受付時間は上記資料館の開館時間・休館日と同じ]）
Email：siaflab@siaf.jp

発行：創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会 Cover photo by Noriko Takuma



札幌国際芸術祭 2017に向けて、 SIAFラボ始動。

For Sapporo International Art Festival 2017,
SIAF Lab goes into action.

sapporo-internationalartfestival.jp/siaflab

未来のための札幌を拓く。

札幌国際芸術祭 (Sapporo International Art Festival、略称：SIAF) は、3年に1度札幌市で行われる国際的なアートフェスティバルで、2017年に2回目を開催することになりました。来るSIAF2017開催に向けて、SIAFラボは活動を開始します。

SIAFラボとは、札幌市資料館に開設された「SIAFラウンジ」と「SIAFプロジェクトルーム」の2つのスペースを活動拠点として、札幌らしい芸術祭を実現していくために、市民一人ひとりにとっての「札幌」を考え、発見、発信していくプロジェクトの総称です。

さまざまなプロジェクトを通じて、SIAFの活動の担い手となる多彩な人々（アーティスト、キュレーター、研究者、コーディネーター、市民活動団体、ボランティアスタッフなど）を繋ぎ、共に考え、学び合う場として機能することで、札幌市内において主体的、自発的な札幌独自の芸術文化活動が育まれるきっかけを創出します。そして、子どもからお年寄りまで、多くの市民がSIAFに関心を持ち、理解を深めるための「出会い」と「発見」に満ちた場となることを目指します。

SIAFラボの活動

SIAFラボでは、今年度8つのプログラムを展開します。札幌についてさまざまな視点から考える「SAPPORO STUDY」、現代美術のレクチャーシリーズ「見えない展覧会」、アートの現場のリアルを聞く「アート境界の人々」、夏休みには子供向けのプログラミング体験「世界をつなぐ音をつくろう」、大人向けの「クリエイティブ・コーディング・スクール in さっぽろ 2015」、プログラミング・ワークショップの成果を作品として発表する「オト・ナ・コード・モ」、そして冬に向け、人工のつららを作る「Bent Icicles Project — Tulala」。加えて、SIAFラウンジでは週2回、「ラボの日」を実施。SIAFラボのプロジェクトメンバーがこの日ラウンジに集まり、札幌のこと、アートのこと、いろいろなことを自由に話し合います。詳細は、中面をご覧ください。是非、ご参加ください！

EVENT SCHEDULE 2015－16

プログラムの参加方法

プログラム（「ラボの日」を除く）の参加には事前予約が必要です。申込受付は、各プログラム開催日の約2週間前から開始する予定です。受付開始時期はウェブサイト等でお知らせ致します。参加ご希望の方は、ウェブサイトまたは電話でお申し込みください。

【Web】www.sapporo-internationalartfestival.jp/siaflab
【電話】011-252-9360 / SIAFラウンジ
（受付時間は裏面、資料館の開館時間・休館日と同じ）

アート境界の人々 — 第一線で活躍する専門家を 迎えて

会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：約30名（高校生以上対象）
参加費：無料（要予約）
モデレーター：細川麻沙美（札幌国際芸術祭事務局 マネージャー）

芸術祭や展覧会では、参加するアーティストや企画を監修するキュレーターには注目が集まります。ですが、一定の期間、芸術表現を紹介するその特殊な現場には、多様な役割があり、専門的な知識と経験を持つ、実に沢山の人々が関わっています。芸術祭・展覧会は、そういった専門家無くしては実現されません。アートの現場には欠かすことの出来ない一線で活躍する「アート境界の人々」をゲストに迎え、その特別な役割から最新の取り組みなどを、対談方式でご紹介します。

8月29日（土） 15:00－16:30	第1回	展覧会エンジニアってなんですか？ ゲスト：金築浩史（展覧会エンジニア） 小町谷 圭（メディアアーティスト、札幌大谷大学講師）
10月3日（土） 15:00－16:30	第2回	コーディネーターってなんですか？ ゲスト：帆足亜紀（アート・コーディネーター、横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー） 漆 崇博（SIAFラボ マネージャー）
12月19日（土） 15:00－16:30	第3回	エドキュレーターってなんですか？ ゲスト：会田大也（ミュージアムエドキューター、東京大学GCL育成プログラム特任助教） 佐藤正範（科学技術コミュニケーションーター、サッポロ・オープン・ラボ、小学校教諭）
2016年2月	第4回	レジデンスってなんですか？（仮） ゲスト：未定

SAPPORO STUDY — 札幌らしさって何？

会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：約30名（高校生以上対象）
参加費：無料（要予約）
モデレーター：漆 崇博（SIAFラボ マネージャー）
○ 各回ともテーマに関するゲストを1～2名お招きします。

札幌の自然、都市（建築）、歴史、習慣など、人の営みに直結するあらゆる「札幌らしさ」を探る研究会。それらの要素を各分野の専門家の視点からひも解き、学ぶことで、札幌から生み出される芸術表現や活動の根本を考え、SIAFが目指す市民自らが、自発的に活動する素地と、異分野同士の新たなネットワークの構築を目指します。

7月4日（土） 15:00－16:30	第1回	札幌らしい場所とは？
9月19日（土） 15:00－16:30	第2回	石切りが生んだ札幌の「交通」 — 馬車、市電、そして地下鉄・LRT
11月28日（土） 15:00－16:30	第3回	札幌の「四季」 — 雪と暮らす街
2016年1月	第4回	札幌の「出来事」 — 例えばサカスが燃えた日
2016年3月	第5回	札幌らしさとは？

見えない展覧会

会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：約30名（高校生以上対象）
参加費：無料（要予約）
ナビゲーター：斎藤ふみ（SIAFラボ マネージャー）

「見えない展覧会」は見ることができない展覧会です。実際の作品を鑑賞する代わりに、言葉や映像によって毎回のテーマに沿った作品を紹介します。ナビゲーターやゲストによって紹介される作家や作品は、おもしろかったり、時にはぞっとしたり、言葉にできない「!」「?」が溢れています。「見えない」ものを「見る」ためには、参加者それぞれの想像力が不可欠です。この「展覧会」を「見」終わった後、今までとは少し違う何かが「見える」ようになるかも知れません。

7月25日（土） 15:00－16:30	第1回	魔法をかけて
9月5日（土） 15:00－16:30	第2回	www._____jp ゲスト：馬定延（ま・じょんよん／メディアアート研究・批評）
11月14日（土） 15:00－16:30	第3回	Touch my body, and shall we dance?
2016年1月	第4回	Don't follow the wind. ゲスト：窪田研二（キュレーター、筑波大学芸術系准教授）
2016年3月	第5回	わたしたちに許された特別な時間

Bent Icicle Project — Tulala

会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：各回約15名
参加費：無料（要予約）
モデレーター：小町谷 圭（メディアアーティスト、札幌大谷大学講師）
船戸大輔（サッポロ・オープン・ラボ）

11月前半	つらら造形マシンをつくろう
※高校生以上対象	相転移しながら多様な表情を見せる「雪」や「つらら」について、札幌の文化的背景や生成過程の理解を深めながら、コンピュータでの環境情報の取得方法やフィジカルコンピューティングなどの技術を用いて、人工つららを造形するための装置を制作します。そして雪まつりにあわせて「人工つらら」を展示します。
11月後半	人工つららを育てよう
※小学3年生～高校生対象	寒冷地ではなじみの深い「つらら」について理解を深めながら、様々な形が生まれるように水滴の垂らし方や水量をプログラミングによってコントロールし、つららの成長過程を楽しみましょう。雪まつりにあわせ、制作した「人工つらら」を展示します。

プログラミング・ワークショップ [子供編]

世界をつなぐ音をつくろう — サウンドプログラミングが つなぐキミと世界

日時：8月1日（土）・2日（日）13:00－15:30 / 16:00－18:30
会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：各回約15名（小学3年生～高校生対象）
参加費：500円（要予約）
講師：佐藤正範（科学技術コミュニケーションーター、サッポロ・オープン・ラボ、小学校教諭）
船戸大輔（サッポロ・オープン・ラボ）

このワークショップでは、アート、デザイン、音楽分野をはじめ、さまざまなシーンで使われはじめている手のひらサイズの小型コンピューター「ラズベリーパイ」を使ってサウンドプログラミングを体験します。SIAFラボでは、ラズベリーパイ上で動作するサウンドソフトを日本語化しました。ワークショップ終了後もソフトを持ち帰り、より細かな機能を調べながらプログラミングの理解を深めていくことができます。コンピューターの仕組みを学び、自分のアイデアを形にしてみませんか？

／ ラボの日 ／

SIAFラボのプロジェクトメンバーが中心となり、特別なテーマやプログラムを設定せずに、その場で生まれた疑問や発見を基に、知識や情報、考え方を伝え学びあう場を生み出します。時には、札幌在住および滞在中のアート関係者をラウンジに迎えた交流会や、市内の美術館・ギャラリー・劇場見学やアートプロジェクト等にも参加するなど、よりアクティブな活動を展開していきます。最終的には、「ラボの日」そのものを参加者が自主運営していくことを目指しています。

プログラミング・ワークショップ [大人編]

クリエイティブ・コーディング・ スクール in さっぽろ 2015

主催：札幌市立大学
後援：札幌市、創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

日時：8月8日（土）、9日（日）、22日（土）、23日（日）
○ 詳細は公式ウェブサイトでご確認ください。
会場：札幌市立大学サテライトキャンパス
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ 45ビル 12階
定員：30名（クリエイティブコーディングに対して興味がある全年齢対象）
○ 最小催行人数15名 ○ お好きな回のみ受講することができます。
参加費：無料（要予約）
○ 詳細は公式ウェブサイトでご確認ください。
講師：藍 圭介（プログラマ、株式会社スマイルブーム、北海道大学大学院ヒューマンコンピュータインタラクション研究室）
石田勝也（札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース講師）
杉本達磨（札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース講師）
田所 淳（クリエイティブコーダー、多摩美術大学非常勤講師、東京藝術大学非常勤講師、東京工科大非常勤講師）

デジタルアートやパフォーマンス、デザイン、広告制作などで、プログラミングでビジュアルやオーディオを生成したり、データを可視化したりする技法として、「クリエイティブ・コーディング」が注目されています。この公開講座では、4種のクリエイティブ・コーディングを、実際に動かしながら実践的に学びます。新しいクリエイティブの可能性を開拓したいみなさんのご参加をお待ちしています。

クリエイティブ・コーディング・スクール in さっぽろ 公式ウェブサイト
<http://ccss.lab.sugimototatsuo.com/2015/>

オト・ナ・コード・モ

プログラミング・ワークショップ 子供編＋大人編 合同展覧会（仮）

日時：9月（日時未定）
会場：SIAFプロジェクトルーム
定員：8月に行われるプログラミング・ワークショップの参加者
参加費：無料（要予約）
講師：藍 圭介、石田勝也、佐藤正範、杉本達磨、田所 淳、船戸大輔

8月に行われるワークショップ「世界をつなぐ音をつくろう—サウンドプログラミングがつなぐキミと世界」と「クリエイティブ・コーディング・スクール in さっぽろ 2015」で行われた内容を基にした作品の展示を行います。コーディングというツールによって大人と子供が合作をする新しい手法で作られる展覧会です。また、展示会期内に、大人と子供が作ったプログラムによる音と映像のイベントも計画しています。

毎週木・土曜日 16:00-19:00

会場：SIAFラウンジ
定員：無し（全年齢対象）
参加費：無料

※イベント日時・ゲスト等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】電話：011-252-9360（SIAFラウンジ [受付時間は裏面、資料館の開館時間・休館日と同じ]）／ Email：siaflab@siaf.jp